

川上ダム通信

2017

10
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



Vol. 145
Since 2005

川上ダム本体工事受注者決定!

～ 川上ダム建設事業、新たな段階へ ～

9月11日に、川上ダム本体工事（以下、「本体工事」とします。）の受注者が「大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体（JV）」に決定しました。落札額は164億1,600万円（税込み）で、工期は平成35年3月31日までです。

4月3日に公告した本体工事には、5者（1社、4JV）が応札しました。8月4日に開札を行い、慎重に工事価格等の調査を行い、このたび受注者が決定したところです。

今年度は、平成30年2月頃から、前深瀬川の流れを仮排水路トンネルへ切り替える工事（転流工）に着手します。それまでの間、受注者の現場事務所の設置等、本体工事に向けた準備が進められます。

また、平成30年は、秋頃から丈夫な岩盤まで掘削をする工事（基礎掘削）を行い、平成31年の秋頃からコンクリートでダム本体を造る工事（本体打設）を行っていく予定です。

以下の写真は、川上ダム建設予定地（ダムサイト）の現在の状況を示していますが、今後、現場の状況は刻々と変化していきます。

川上ダム建設所では、受注者と連携・協力しながら、ダム現場の状況を地元の皆様方にご覧いただける機会をより多く設け、見学会を定期的で開催する予定です。より多くの皆様に見ていただき、地元で親しまれるダムづくりに取り組んでまいります。

【調査設計課 小牧健二】



ダムサイトの現状(平成29年8月28日撮影)

三重県渡邊副知事が川上ダム視察

9月5日（火）に三重県渡邊副知事、県土整備部渡辺副部長、志々田次長、伊賀建設事務所西澤所長ほか計8名の方々が川上ダム建設事業の視察に来られました。

当日は、伊賀・名張地域で行っている道路改良事業等の視察に訪れ、そのひとつとして川上ダム建設事業も視察していただきました。

現地では今年11月中の通行開始予定である付替県道青山美杉線の状況やダムサイト近傍で行っている工事状況をみていただき、渡邊副知事からは「事業の状況についてよく理解出来た。」との話がありました。

今後とも関係機関と連携して、一日も早いダム完成に向け職員一丸となって事業を進めてまいります。

【工務課 小谷口雅義】



職員から説明を受ける副知事（右から二人目）

九州北部豪雨 ～川上ダム職員の災害復旧支援報告～

新聞テレビ報道等でご存じの通り福岡県朝倉市周辺地域は、7月5日（水）から6日（木）にかけて発生した九州北部豪雨により甚大な被害を受けました。

朝倉市には、水資源機構が管理している寺内ダム管理所があり、今回の豪雨ではダムは出来る限りの貯留を行い下流への被害低減に効果を発揮しました。しかしながら、ダム湖へは想像を超える量の流木及び濁水が流入し、寺内ダムではその対応に追われていました。そのため、水資源機構では、被災地への復旧支援として、自治体への災害復旧支援の派遣を行うと共に寺内ダムへの人的な業務支援を決定しました。

川上ダム建設所からは、筆者自身が昨年10月まで在籍していた関係もあり、7月17日（月）～7月22日（土）の間、寺内ダム管理所へ業務支援に派遣されましたので支援内容とその周辺地域の被害状況を報告します。

久しぶりに訪れた寺内ダムは、いつも見ていた穏やかなダム湖と異なり、湖面全体の濁水と大量の流木等で埋め尽くされていました。ダム湖に貯留された流木の回収・処分は、膨大な量のため容易ではありませんが、寺内ダム管理所では現在全力で対応しております。

また、ダム湖上流も、地滑り等による護岸崩壊、道路損傷、橋と橋脚の流出等の凄まじい状況にありました。

私の今回の主な支援内容としては、水量・雨量等を観測する電気通信設備等の状況確認作業、濁水により一部障害のあった電気通信機器の復旧作業及び改善工事の対策方法の立案・工事費試算等を行いました。



ダム湖の流木貯留と濁水

私の行った支援は、寺内ダムの復旧の一部ではございますが、早期復旧への一助を担えたと思っております。

豪雨から2ヶ月近く経過し、主要道路沿いでは復旧が進みつつありますが、一步裏路地へ入ると荒れ果てた家屋が手付かず状態であり、復興への道のりはまだまだ道半ばである事を感じています。

最後になりますが、亡くなられた方のご冥福、一日も早い復興を願ひまして、報告とさせていただきます。

【機械課 豊原 誠】

川上ダムの洪水調節計画

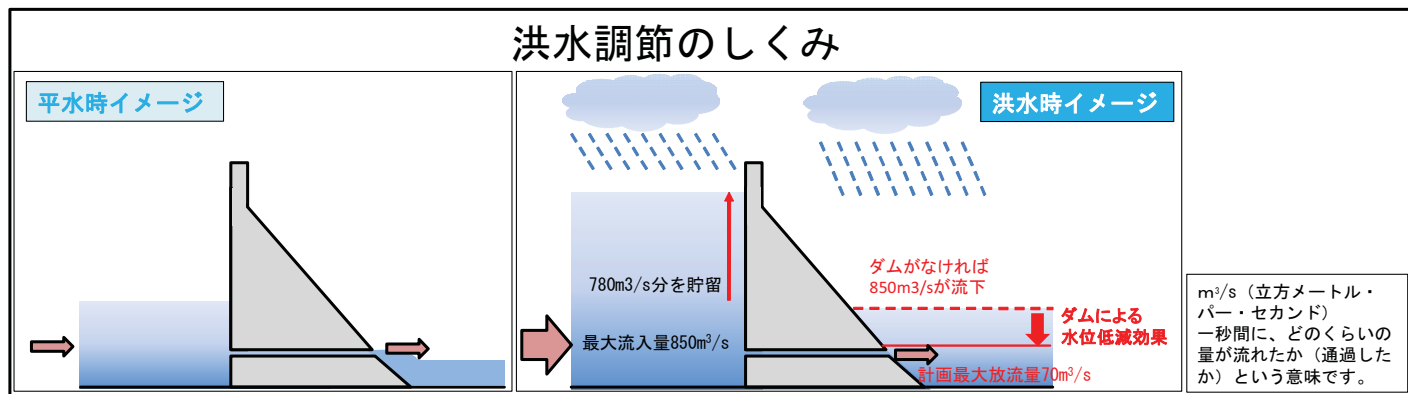
今年7月に発生した九州北部豪雨は、各地で甚大な被害をもたらしました。機構が管理する寺内ダム付近でも豪雨となり、被害軽減のための洪水調節を行いました。ダムへの最大流入時には $888\text{ m}^3/\text{s}$ の水が流入し、結果として約 1170 万 m^3 の水をダムに貯め、ダム下流の河川水位を低減、被害を軽減することができました。

川上ダムでは、ダム地点で最大流入量 $850\text{ m}^3/\text{s}$ （ダム地点で想定されている最大流入量）が流入した際、 $780\text{ m}^3/\text{s}$ をダムで貯留する洪水調節を行い、下流への放流量を減らすことで下流の木津川沿川及び淀川本川の洪水被害を軽減する計画としています。洪水期（6月16日～10月15日まで）には事前に水位を下げておくため 1440 万 m^3 の水を貯めることができ、今回の寺内ダムと同程度の流入があっても計画上では洪水調節を行うことが可能です。仮にこの流量を超えるような洪水に対しても、可能な限り水を貯めこみ、その後も上流から流れてくる洪水と同じ量を下流に流すため、ダムによって洪水被害が拡大することはありません。

近年では集中豪雨や局地的大雨が増加傾向にありますので、当建設所におきましても皆様にご安心いただけるよう一日も早いダム完成を目指して事業を進めてまいります。

【調査設計課 赤尾大樹】

洪水調節のしくみ



川上ダムのインターンシップ（就業体験）報告

はじめまして。愛知工業大学土木工学科から大学のインターンシップでまいりました安楽と申します。

建設中のダムを見る機会はそうそう無いと思ったため興味を持ち参加させていただきました。

研修では、ダムの目的、水資源機構の概要説明を聞き、また実際に工事現場や関連施設に同行させていただきました。

例を挙げますと、オオサンショウウオの保護のため、個体のマイクロチップ番号や全長等の項目を測る作業、保護対象植物の移転などを体験し、様々な環境への配慮が事業に重要であることを学びました。

また、建設中の盛り土のデータを簡略化したものを使用して斜面安定の計算を行い、斜面が安全か計算したり、河川の流量計算の数値データを現場で自ら記録、計算して考察する様な実践的な作業も教わりました。

大学の授業や本だけでは感じる事の出来ない実務ならではの緊張感や仕事の責任感を身近に感じる事ができたことが、公共事業が多い土木の仕事にこれから携わっていく身としては大きな収穫でした。

2週間の研修期間の中で様々な方々にご指導を受け、建設前に調査しておくべき点や、調査で重要視した点、ダムを管理する上で必要な内容など幅広い内容を教わり、ダムに対する知識を深めることができ、凄く良い経験になりました。まだまだ基礎的な部分が勉強不足だと思い知りましたので、就職に向けて今回の経験を活かしながらダムの勉強に励みたいと思います。

【愛知工業大学 安楽美希】



オオサンショウウオの計測にも挑戦
（中央が筆者）

農家研修に行ってきました

8月21日（月）から9月1日（金）までの12日間にわたり、農家に滞在して農作業を経験するとともに、当機構の水を利用する方々の視点を理解して将来の業務に活かしていくため、香川県丸亀市の「竹内農場」へ農家研修に行ってきました。今回はそのレポートをします。

竹内農場は、当機構香川用水の受益者であり、香川用水の水を利用して、主にキャベツを栽培しています。他にもアスパラガスの栽培、ブランド牛であるオリーブ牛の飼育を行っています。

研修中の主な作業内容は種まき、定植（苗床で育てた苗を田や畑に移し植えること）、苗の差し替え、枕（苗を植える部分）の溝掘り、水やりでした。

私たちの研修期間は、種まきや苗植えの最盛期で、一番忙しい時期ということで、全員で次から次へと種まきや定植などを行いました。また滞在期間中は、快晴が続き、毎日が真夏日または猛暑日という炎天下での作業でした。

普段あまり身体を動かしていないことに加えて、連日の暑さもあり、体力的には厳しい日々でした。しかし、自分たちの植えた苗が成長した姿など、自分の作業が形になったのを見るとうれしくなり、また頑張ろうと疲れも吹き飛んでいきました。

今回の研修での作業は、地味な作業の積み重ねでしたが、このような作業を地道に繰り返すことで、収穫というゴールにつながるということを改めて痛感しました。

本研修を通して、受益者の皆様が農作業でどのように水を使用されているか実際に体験したことは大変良い経験となりました。

地道な作業の繰り返しの大切さ、受益者の皆様の水の使い方を知ったことを今後の業務にも活かして行きたいと思います。

お世話になった竹内農場の皆さんありがとうございました。

【総務課 関澤佳晃】



みんなでキャベツ定植中！



竹内農場の皆様と（右下が筆者）

イベント情報

勝手神社神事踊り

- ・開催日：10月7日（土）～8日（日）
- ・会場：勝手神社
- ・問合せ先：いがまち観光振興会
TEL：0595-45-8488

上野天神祭

- ・開催期間：10月20日（金）～22日（日）
- ・会場：上野天神宮、伊賀市街地等
- ・問合せ先：上野天神祭地域振興実行委員会
TEL：0595-21-0527

第13回ふれあいフェスタ in 青山

- ・開催日：10月22日（日）
- ・会場：伊賀市役所青山支所周辺
- ・問合せ先：伊賀南部農業協同組合
TEL：0595-62-3811

編集後記

夏の猛暑も和らぎ、朝夕が涼しくなり秋の気配を感じるようになってきました。

秋といえば、「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」・・・と様々あります。

気候も穏やかになり、何かを始めるにはいい季節だと思います。

皆様はどのような秋をお過ごしでしょうか。

川上ダム情報は、これからも本紙やホームページを通して、より一層発信していきますので、引き続きご愛読のほどをよろしくお願い致します。

【広報誌発行事務局】

編集長	北牧（所長）	
デスク	大西（総務課長）	小谷口（工務課長）
記者	関澤（総務課）	桐山（第二用地課）
	赤尾（調査設計課）	青木（工務課）
	河野（工事課）	佐々木（機械課）